

ルータ

フレッツ光 NEXT(ONU)とルータ RVS4000-JP 接続設定例

(テキスト版)

フレッツ光 NEXT(ONU)とルータ RVS4000-JP との接続設定例です。
(動作確認済み)

1. 設定前の準備

前提条件として、ONU はプロバイダとの接続設定が完了しており、ONU に PC を接続することでプロバイダに接続できること。

ルータの電源がオフの状態、フレッツ光 NEXT の ONU の LAN コネクタとルータの WAN コネクタを LAN ケーブル(カテゴリ5以上)で接続します。

**ONU の WAN 設定を無効にします。
(RVS4000-JP の WAN 設定が有効になります。)**

ルータの LAN コネクタと設定する PC(本例では Windows7)の LAN コネクタを LAN ケーブルで接続します。

ルータの電源をオンにします。

2. 設定画面表示

設定する PC にてインターネットエクスプローラを開きます。



インターネットエクスプローラ画面

3. ログイン

上記の画面において、アドレスバーに 192.168.1.1 と入力し、RVS4000-JP のログイン画面を表示します。



ルータ RVS4000-JP ログイン画面

上記の画面において、ユーザー名とパスワードを入力後、OK を選択してログインします。

(初期設定状態でのユーザー名とパスワードはともに admin となっております。)

4. 初期表示画面の確認

The screenshot shows the Cisco RVS4000 web interface. The browser address bar displays `http://192.168.1.1/setup.cgi?next_file=Home.htm`. The page title is "Small Business cisco RVS4000 4ポートギガビットVPNセキュリティルータ". The left sidebar contains a navigation menu with items like "設定", "ファイアウォール", "VPN", "QoS", "各種管理", "IPS", "L2スイッチ", and "ステータス". The main content area is titled "概要" (Summary) and includes the following sections:

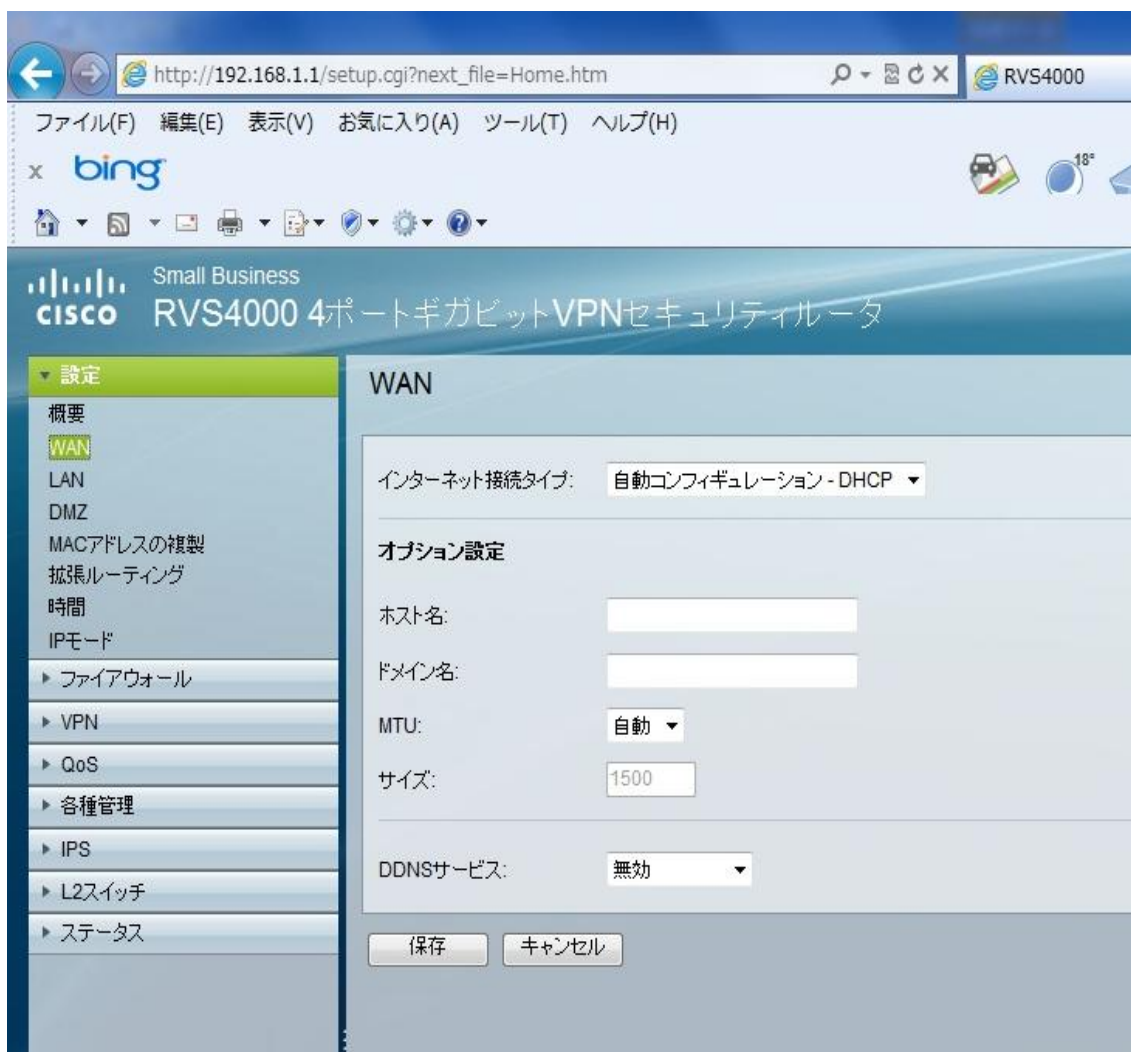
- システム情報** (System Information):
 - ファームウェアバージョン: V2.0.1.1
 - CPU: STAR 9202
 - システムアップタイム: 0日, 00:23:30
 - DRAM: 64MB
 - フラッシュ: 8MB
- ポート統計情報** (Port Statistics Information): Includes an image of the RVS4000 device.
- ネットワークの設定ステータス** (Network Configuration Status):
 - LAN IP: 192.168.1.1
 - WAN IP: 192.168.1.2 (with "DHCPリリース" and "DHCP更新" buttons)
 - モード: Gateway
 - DMZ: Off
 - DNS1: 192.168.1.1
 - DNS2: (blank)
 - DDNS: Off
- ファイアウォールの設定ステータス** (Firewall Configuration Status):
 - DoS(サービス拒絶): On
 - WAN要求のブロック: On
 - リモート管理: Off
- IPSec VPNの設定ステータス** (IPSec VPN Configuration Status): (partially visible)

ルータ概要画面

上記の画面において、LAN IP=192.168.1.1、WAN IP=192.168.1.2、モード=Gateway、DNS1=192.168.1.1 となっていることを確認します。

5. WAN の設定

ルータ概要画面において、設定、WANと選択し、WAN の設定画面を表示します。



WAN 設定画面

上記の画面において、WAN の設定を行います。

The screenshot shows the Cisco RVS4000 web management interface. The browser address bar displays `http://192.168.1.1/setup.cgi?next_file=Home.htm`. The page title is "Small Business RVS4000 4ポートギガビットVPNセキュリティルータ". The left sidebar contains a navigation menu with "設定" (Settings) expanded, and "WAN" selected. The main content area is titled "WAN" and contains the following configuration fields:

- インターネット接続タイプ: PPPoE (dropdown menu)
- PPPoE設定
 - ユーザ名: xxxxxxxx@nifty.com (text input)
 - パスワード: [masked] (password input)
 - オンデマンド接続: 最大アイドル時間 5 分 (radio button and dropdown)
 - キープアライブ: リダイヤル間隔 30 秒 (radio button and dropdown)
- オプション設定
 - ホスト名: [empty] (text input)
 - ドメイン名: [empty] (text input)
 - MTU: 自動 (dropdown menu)
 - サイズ: 1500 (text input)
 - DDNSサービス: 無効 (dropdown menu)

At the bottom of the configuration area, there are two buttons: "保存" (Save) and "キャンセル" (Cancel).

WAN 設定例 (PPoE 設定)

上記の例は、ISP (インターネットサービスプロバイダ: PPPoE 接続) 情報の設定例です。

ISP 情報を入力した後、保存を選択します。保存を選択するとルータ設定のため、リブート状態となります。



ルータリブート画面

上記の画面の完了を待ち、続いて LAN の設定を行います。

6. LAN の設定の確認

設定、LAN を選択し、LAN の設定画面を表示します。



LAN 設定初期状態画面

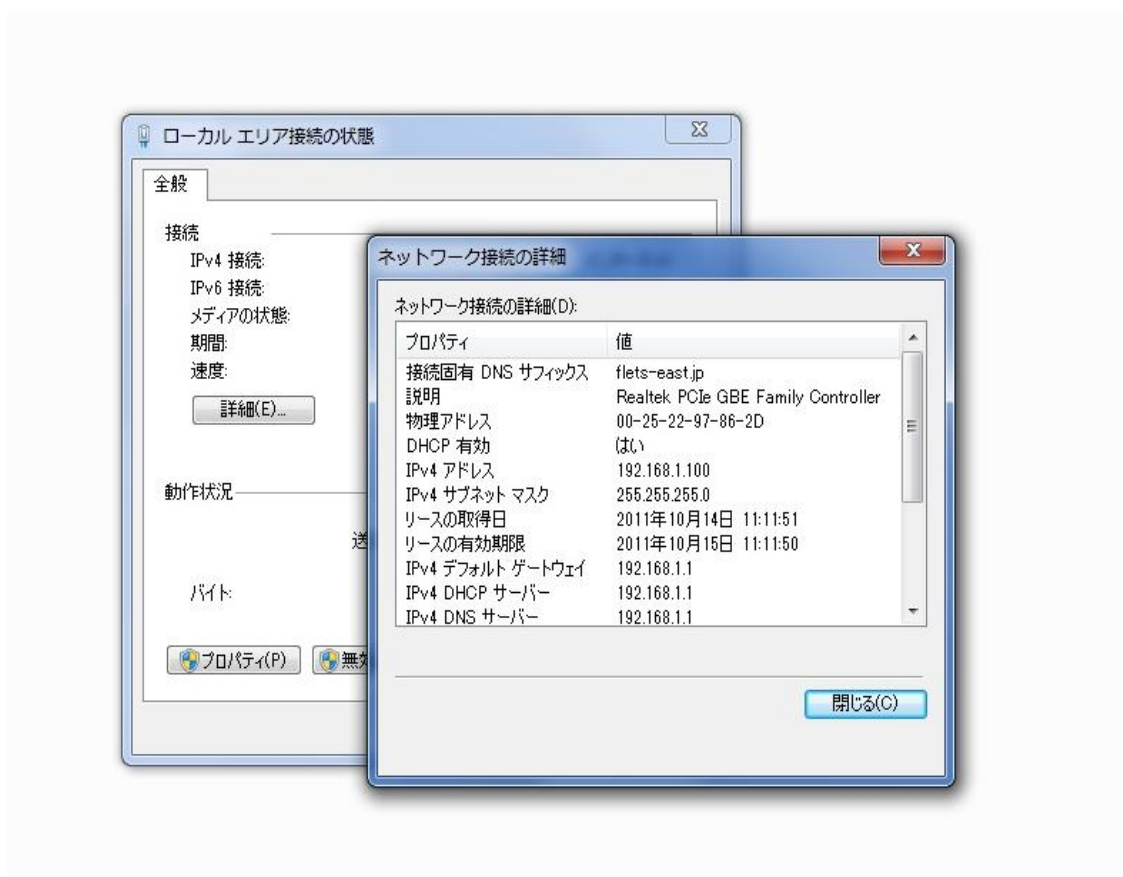
上記の画面において、ローカルアドレス＝192.168.1.1、サブネットマスク＝255.255.255.0、DHCP サーバ＝有効となっていることを確認します。

構築しているネットワークに他の DHCP サーバがない場合は、本ルータを DHCP サーバとします。

デフォルトでは、DHCP サーバが割り当てる IP アドレスの開始 IP アドレスは、192.168.1.100、ユーザの最大数は 50 となっております。

7. PC の接続状態(ネットワークの状態)の確認

設定している PC を用いて接続状態を確認します。PC のコントロールパネルからネットワークの接続の詳細を表示します。



PC からの接続状態の確認画面

上記の画面において、接続固有 DNS サフィックスが flets-east.jp (NTT 東日本の場合) となっており、PC に割り当てられた IP アドレスが 192.168.1.100 となっていれば設定は正常です。

8. PC からインターネットへの接続の確認

任意のホームページに接続できるか確認します。



インターネット任意ホームページ表示例

上記のように任意のインターネットホームページが表示されれば、ルータの最低限の設定は完了です。

この作業完了後に、ルータの種々の機能をネットワークの用途に合わせて設定していきます。